

大規模地震対応模擬訓練

事業継続(BC)の実効性向上のための訓練

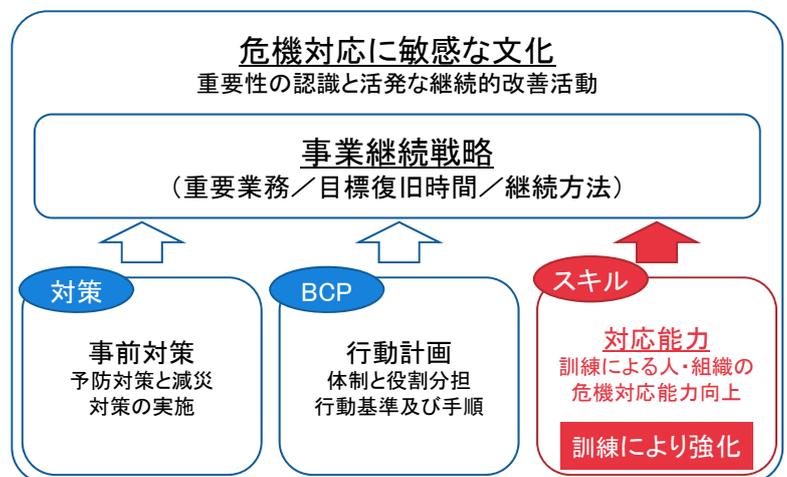
東日本大震災への対応

東日本大震災は、揺れによる建物被害にとどまらず、大規模な津波被害と原子力発電所事故と続き、これまでの想定を大きく超え、未曾有の事態となりました。

どのような詳細な行動計画を作っても、またどんなに事前の対策を実施していても、それを使いこなす人の対応能力(スキル)がもっとも重要です。

災害対応に求められる人材には、主に以下の3つのスキルが求められます。

- ◆ 災害発生後、時間経過とともに何が起こるかを具体的にイメージできるイマジネーション能力
- ◆ 情報が不足している時、あるいは情報が集中している時において、状況を分析・判断し理解する能力
- ◆ 自ら災害に関する知識を有機的に結合し、状況に応じて最適な判断を行い迅速に行動する能力



これらのスキルは、自社の被災を想定したシミュレーションを繰り返し行うことにより、強化することができます。

紀陽リース・キャピタルが提供する大規模地震対応模擬訓練

本プログラムは、紀陽リース・キャピタルのBCM訓練パートナーである富士通総研がこれまでに富士通グループや様々な業種のお客様を対象に実践してきた訓練ノウハウを基に設計した模擬訓練です。時々刻々と変化していく被災状況をリアルタイムで再現し、参加者の情報整理、判断力等といった危機対応に不可欠な要素をご体感いただけます。

負傷者の発生や設備被害等といった人的・物的被害への対応に加えて、取引先からの被害報告や顧客からの要求等、実際に起こりうる事業継続に関するシナリオも盛り込まれていますので、事業継続の目的や重要性等をわかりやすく理解できる内容になっています。



災害発生



訓練風景



情報整理

大規模地震対応模擬訓練の特長

- 欧米で一般的に行われている災害対応訓練手法(モックディザスターエクササイズ)を採用
- 東日本大震災、節電対応等、事業への影響を踏まえたリスクシナリオ
- 富士通グループの対策本部実践経験や多種多様のお客さま向けに開発・蓄積されたリスクシナリオ

大規模地震対応模擬訓練の活用シーン

本プログラムは、対策本部員だけでなく、様々な立場や役割の従業員向けにご活用いただけます。

- ① 経営者や対策本部員に気付きを与えて、BCMの取り組みを促進したい
- ② 対策本部員以外の従業員の対応能力を向上させたい
- ③ 対策本部員に役割分担や情報整理の重要性や必要性を理解してもらいたい
- ④ 今般の災害対策本部の行動を、最新のリスクシナリオで再評価したい

震災発生後に寄せられたお客様の声

紀陽リース・キャピタルのBCM訓練パートナーである富士通総研では、富士通グループをはじめとして、多種多様な業種のお客様向けに年間100回以上の訓練を実施してまいりました。今般の震災後に、お客様から寄せられた声をご紹介します。

- 経営トップを含めた訓練を実施したばかりだったので、要員参集や、役割分担等、対策本部メンバが主体的に行動できた
- 役割が明確になっていたことで、情報の収集や、対応の優先度付けなどの整理がスムーズに行えた
- 訓練で抽出された課題への対応方法を検討しはじめたばかりだったが、訓練実施報告書の解説部分が非常に役立った
- 従業員の帰宅判断や、待機指示等、速やかに実施できたことで、混乱を招かずに対応できた

和歌山BCM訓練センターのご紹介

紀陽リース・キャピタルでは、富士通総研「BCM訓練センター」をパートナーとして、「和歌山BCM訓練センター」を展開しています。

富士通総研は平成22年に非常時の危機対応力を高めることを目的に国内初の「BCM訓練センター」を設立、教育機関や専門家団体等と連携し、また長年蓄積されたノウハウやシナリオ等のナレッジを活用し、これまでに延べ5,000の企業や団体に、お客様の成熟度に応じたBCMの訓練を提供してきました。

紀陽リース・キャピタル「和歌山BCM訓練センター」は、富士通総研の訓練ノウハウやコンテンツをパートナーとして活用することにより、企業のBCP策定支援およびBCM訓練による実効性向上や評価・見直し、危機対応人材の育成支援等を行います。

【和歌山BCM訓練センター(WBTC)のポイント】

- 富士通総研「BCM訓練センター」の蓄積されたナレッジの活用により、お客様の対応能力に沿った訓練導入が可能
- 備品や場所などの訓練環境の準備や当日の運営・評価まで、一貫したサービスの導入が可能
- 国内外専門機関と提携した高度かつ先進的手法により、実践的な危機対応能力の向上が可能

【お問い合わせ】

紀陽リース・キャピタル株式会社

コンサルティング事業部 和歌山BCM訓練センター

TEL: 073-426-7125

FAX: 073-432-7323

<http://www.kiyo-lc.co.jp/>